

# 自立生活支援を考える会

## 第4回

9月30日(日) 13:30~17:00

多摩市ボランティアセンター永山分室

(〒206-0025 多摩市永山3-9(東永山複合施設) 042-373-6642 永山駅より徒歩10分)

二次会(飲み会)もやります!

知的障害当事者の自立生活が、各地で徐々に実現されつつあります。

どのような生活を送るのかは、人それぞれです。

けれど、自立生活を「支援」するときに出てくる課題は、似ています。家探し、支給量の確保、お金の管理のこと、ヘルパーの連携のこと、本人の意思や思いをどう活かしていくか、近隣住民との関係、などなど。

地域で自立生活支援に取り組んでいるさまざまな人たちと、情報や思いを交換しませんか。日頃の悩みや考えを出し合い、次につながる材料を持って帰れる場を目指しています。ぜひご参加ください!!

第4回は、「関係性・共同性」です。抽象的でごめんなさい。人の生活って制度で出来ているものではないよね、その人が周囲と取り結ぶ関係性や共同性を見なくちゃね…というテーマなのです。住まい方とも深くかかわります!

- ・ヘルパーが時間通りに来れば生活が成り立つというものでもない。一人暮らしでヘルパーだけに囲まれた生活になってしまうことのしんどさである。
- ・だったらグループホームやケアホーム、コレクティブハウスなら、当事者同士の人間関係がつかれるだろうか? でも同居すればいいってもものでもない。相性だってあるし、時間をかけて付き合ううちに変化もする。**住まい方をどう選ぶ?**
- ・支援者と当事者の人間関係をどう育むか? 実はヘルパーとしてではなく普通に付き合う関係や時間があつたほうが、結果的にヘルパーとしての仕事も楽になる。けど給料は出ない…そこをヘルパー間でどう連携・共有するのか?
- ・当事者同士の人間関係に、支援者はかかわるべきではない? でもすごく単純な誤解から諍いが起きてるように見えることもある…。ではどうかかわる?

文責:三井さよ

連絡先:たこの木クラブ(042-389-1378)

